

匝瑳市総合計画策定にかかる
アンケート調査（市民・職員）

結果報告書

平成18年8月
匝瑳市

目 次

I. 調査の概要	1 -
1. 調査の目的	1 -
2. 調査方法	1 -
3. 調査項目	1 -
4. 回答結果	2 -
5. 分析結果を読む際の留意点	2 -
II. 調査結果	3 -
1. 回答者の属性	3 -
1. 性別	3 -
2. 年齢	4 -
3. 職業	5 -
4. 居住地区	5 -
5. 現在の地域に住んでいる状況	6 -
2. 保健・医療・福祉について	7 -
1. 健康増進	7 -
2. 高齢者・障害者施策	8 -
3. 子育て支援	9 -
4. 地域の支え合い	10 -
5. 医療体制	11 -
3. 産業・経済について	12 -
1. 自慢したいこと	12 -
2. 農林水産業振興	13 -
3. 商工業振興	14 -
4. 観光振興	15 -
4. 生活環境について	16 -
1. 住環境	16 -
2. 安全なまちづくり	17 -
3. 自然環境保全	18 -
5. 教育・文化について	19 -
1. 学校教育	19 -
2. 人権問題	20 -
3. 生涯学習・スポーツ文化活動	21 -
6. 行財政運営について	23 -
1. 市民との協働	23 -
2. 行財政改革	26 -
3. 情報通信	27 -
4. 情報提供	29 -
5. 合併後の状況	30 -
6. 市の現状に対する評価	32 -

I. 調査の概要

1. 調査の目的

平成18年1月23日に誕生した匠瑛市では、これからのまちづくりの指針となる総合計画を策定することになりました。

本調査は、新しい総合計画を策定するにあたり、満足度の高いまちづくりを目指すため、市内居住者の方の意見、要望等を収集し、また全職員の意見を聴取して、計画に反映させることを目的とします。

2. 調査方法

本調査の調査対象および配付数、調査期間、調査方法は、下表のとおりとなっています。

(1) 市民意識調査

- 調査対象：匠瑛市内にお住まいの16歳以上の方
- 配布数：2,000名
- 調査期間：平成18年7月
- 調査方法：調査票を郵送配布・郵送回収

(2) 職員アンケート

- 調査対象：全職員
- 配布数：529名
- 調査期間：平成18年7月
- 調査方法：調査票配布・回収

3. 調査項目

- 調査内容：
 1. 回答者の属性
 2. 保健・医療・福祉について
 3. 産業・経済について
 4. 生活環境について
 5. 教育・文化について
 6. 行財政運営について

*市民意識調査と職員アンケートの設問は一部異なります。

II. 調査結果

4. 回答結果

	配付数	回収数	有効	無効(※)	回収率
市民意識調査	2,000票	896票	896票	0票	44.8%
職員アンケート	529票	454票	454票	0票	85.8%

※無回答のため

5. 分析結果を読む際の留意点

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

1. 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
2. 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
3. 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
4. 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
5. 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。

Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の属性

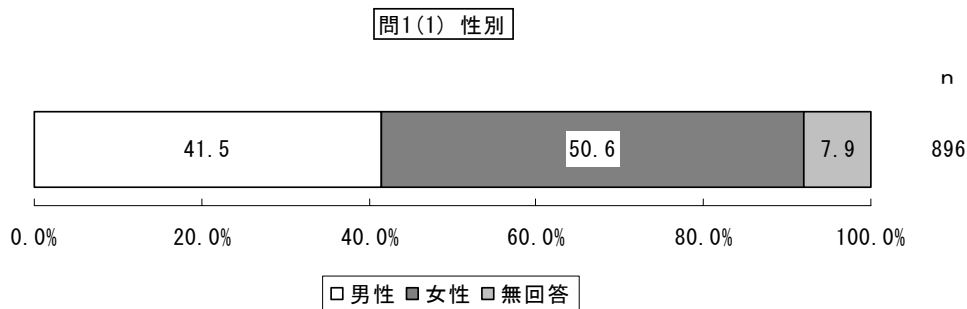
問 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

1. 性別

(市民)

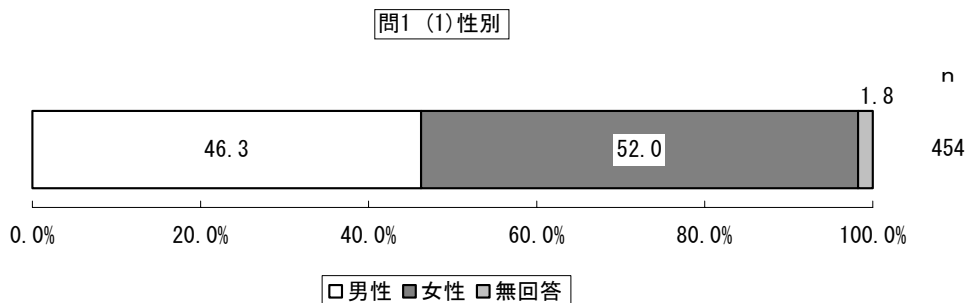
男性の回答者 41.5%、女性の回答者 50.6%となっており、匝瑳市の人口構成(※)と比較すると男性はやや低く、女性はほぼ構成比どおりとなっています。

※平成17年3月現在、男性49.0%、女性51.0%(統計そうさ)



(職員)

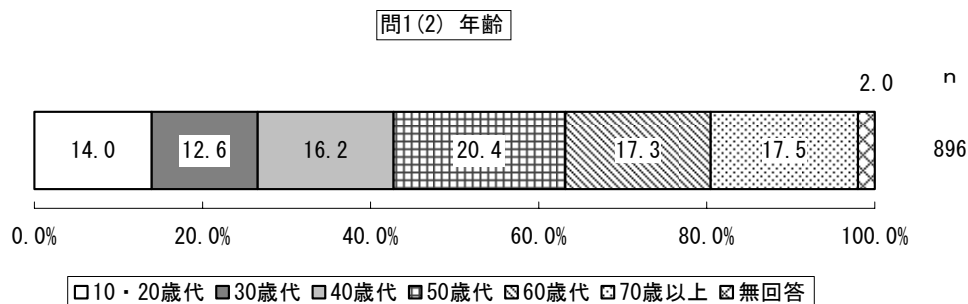
男性の回答者 46.3%、女性の回答者 52.0%となっており、市民の方の回答者割合とくらべると、やや男性の回答者が多くなっていますが、匝瑳市の人口構成と比較するとほぼ構成比どおりとなっています。



2. 年齢

「50歳代」の方が20.4%と最も高く、次いで「70歳以上」(17.5%)、「60歳代」(17.3%)、「40歳代」(16.2%)となっています。

【市民】



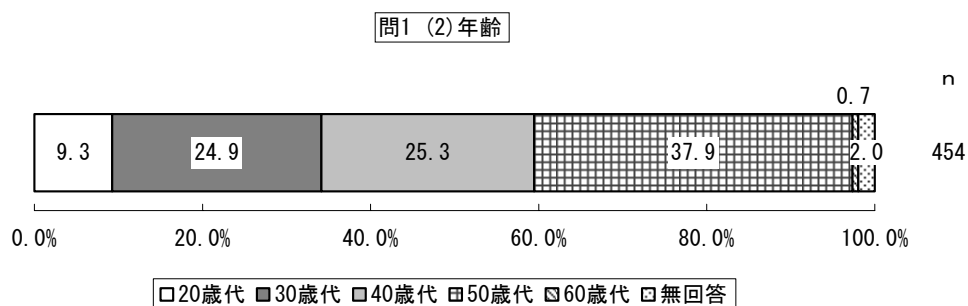
(参考) 年齢別人口

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
人口	4,249	4,623	5,114	5,379	6,787	5,119	7,874
割合	10.9	11.8	13.1	13.7	17.3	13.1	20.1

※10歳代は10歳～19歳人口で、アンケート対象者(18.19歳)とは異なる。
平成17年4月現在(統計そうさ)

【職員】

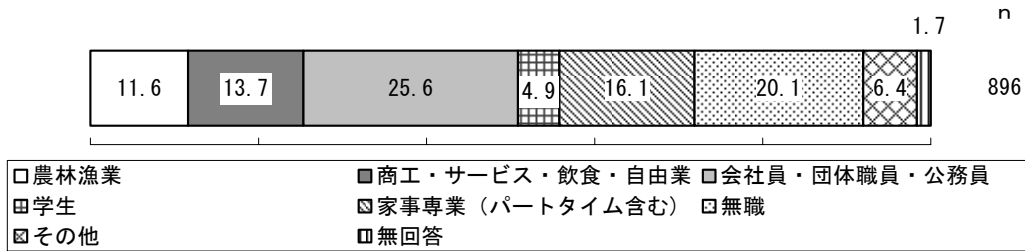
「50歳代」の方が37.9%と最も高く、全体の約4割を占めています。「30歳代」、「40歳代」の方がそれぞれ25%程度で、「20歳代」の方が1割弱となっています。



3. 職業

「会社員・団体職員・公務員」と回答した方が 25.6%と最も高く、次いで「無職」(20.1%)、「家事専業(パートタイム含む)」(16.1%)、「商工・サービス・飲食・自由業」(13.7%)となっています。

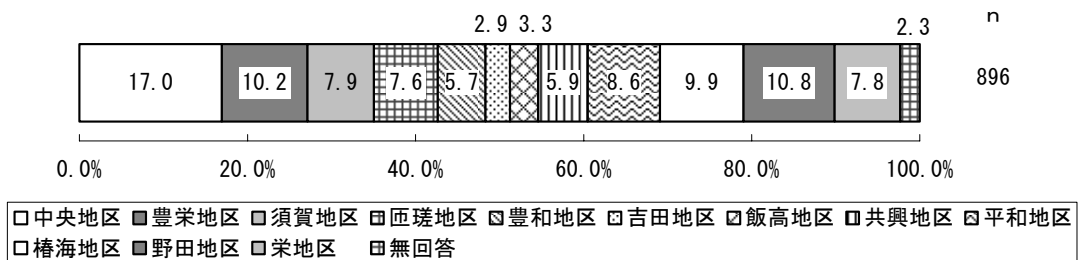
問1(3) 職業



4. 居住地区

「中央地区」と回答した方が 17.0%と最も多く、次いで「野田地区」(10.8%)、「豊栄地区」(10.2%)となっています。地区別人口と比較すると、「匝瑳地区」の方の回答割合がやや高く、「野栄町(野田地区+栄地区)」の方の回答割合がやや低くなっています。

問1(4) 居住地区



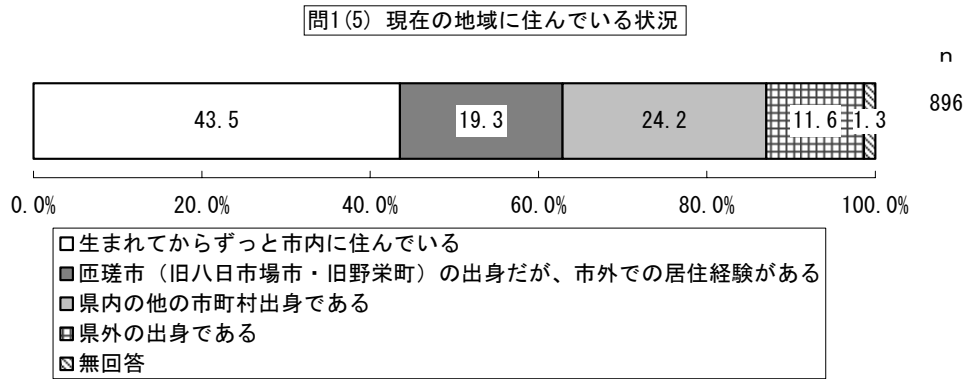
(参考) 地区別人口

	中央	豊栄	須賀	匝瑳	豊和	吉田	飯高	共興	平和	樺海	野栄町
人口	6,900	4,113	3,615	1,710	2,237	1,274	1,421	2,856	4,198	4,241	10,035
割合	16.2	9.7	8.5	4.0	5.3	3.0	3.3	6.7	9.9	10.0	23.6

平成 17 年 4 月現在 (統計そうさ)

5. 現在の地域に住んでいる状況

「生まれたからずっと市内に住んでいる」と回答した方の割合が **43.5%** と最も高く、次いで「県内の他市町村出身である」(**24.2%**)、「匝瑳市の出身だが、市外での経験がある」(**19.3%**) となっています。



2. 保健・医療・福祉について

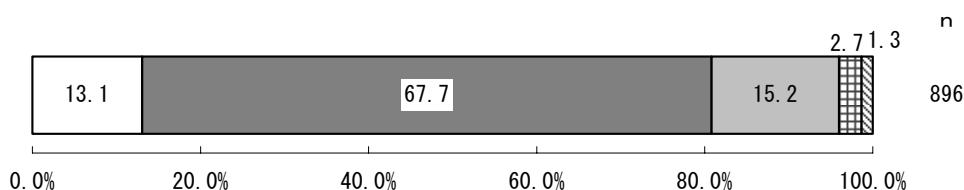
1. 健康増進

(市民)

問 あなたは、現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。(1つに○)

「まあ、感じている」と回答した方が67.7%と最も高く、「とても感じている」と回答した方と合わせると、8割以上の方が健康的な生活を送れていると感じています。

問2 現在健康的な生活を送れているか



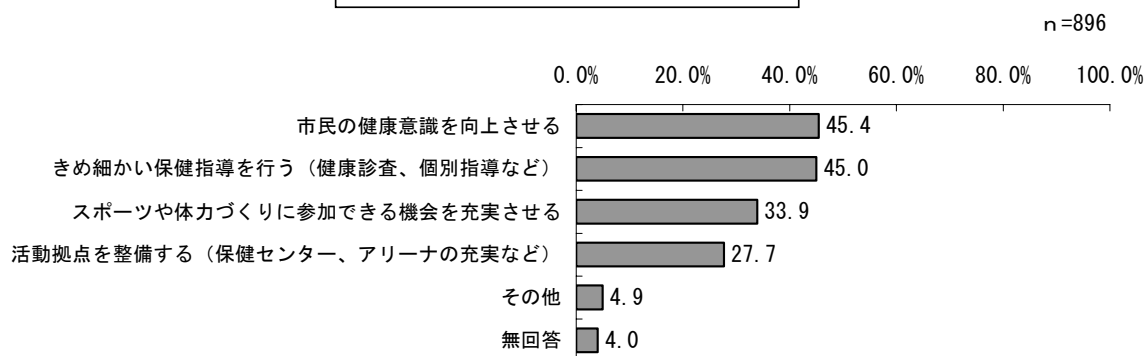
□とても感じている ■まあ、感じている □あまり感じていない ▨まったく感じていない ▩無回答

(市民)

問 市の健康増進への取組みで、今後、何が最も重要と考えますか。(2つまで○)

「市民の健康意識を向上させる」と回答した方の割合が45.4%と最も高く、「きめ細かな保健指導を行う」と回答した方もほぼ同数となっています。

問3 市の健康増進の取組みで今後重要なこと



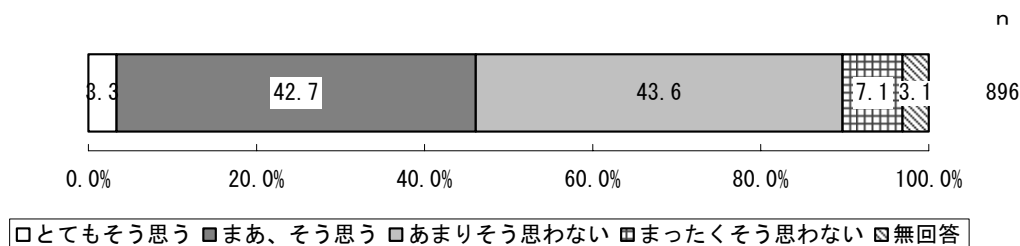
2. 高齢者・障害者施策

(市民)

問 匝瑳市は、高齢者や障害者にとって暮らしやすい地域だと思いますか。(1つに○)

「そう思う」(とても+まあ)と回答した方が**46.0%**、「そう思わない」(まったく+あまり)と回答した方が**50.7%**と、高齢者や障害者にとって暮らしやすい地域だと思わない方の割合がやや高くなっています。

問4 高齢者や障害者にとって暮らしやすい地域か

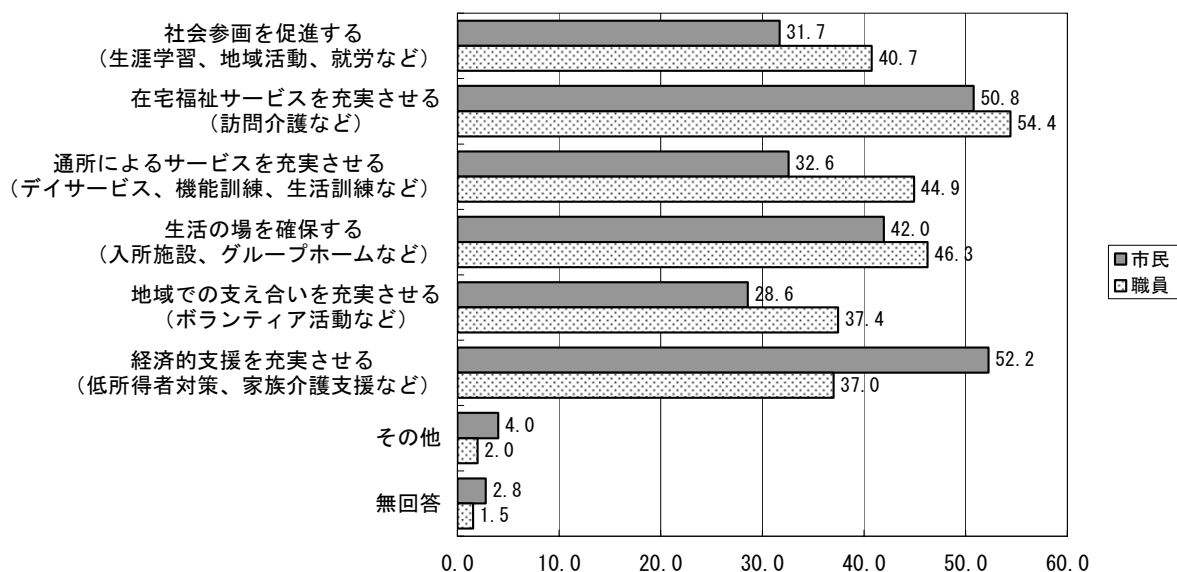


(市民・職員)

問 高齢者や障害者に対する施策として、何が最も重要と考えますか。(3つまで○)

市民の方では、「経済的支援を充実させる」と回答した方の割合が**52.2%**と最も高く、次いで「在宅福祉サービスを充実させる」(**50.8%**)、「生活の場を確保する」(**42.0%**)となっています。

一方、職員では、「経済的支援を充実させる」は**37.0%**と、この施策のみ市民の方の回答割合にくらべて低く、他の施策すべてで市民の方の回答割合を上回っています。



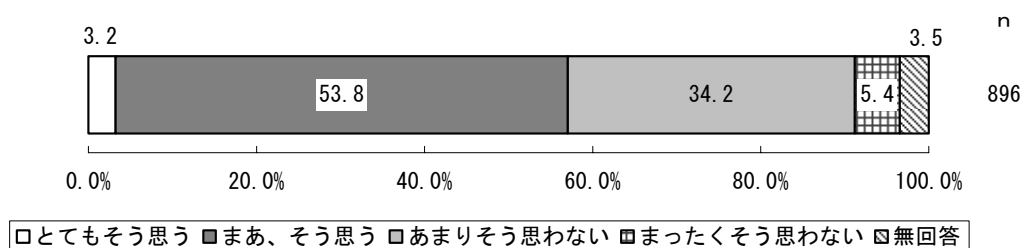
3. 子育て支援

(市民)

問 匝瑳市は、子育て家庭にとって、暮らしやすい地域だと思いますか。(1つに○)

「そう思う」(とても+まあ)と回答した方が**57.0%**、「そう思わない」(まったく+あまり)と回答した方が**39.6%**と、子育て家庭にとって暮らしやすい地域だと思う方の割合が高くなっていますが、「とてもそう思う」と回答した方の割合が**3.2%**にとどまっています。

問6 子育て家庭にとって暮らしやすい地域か

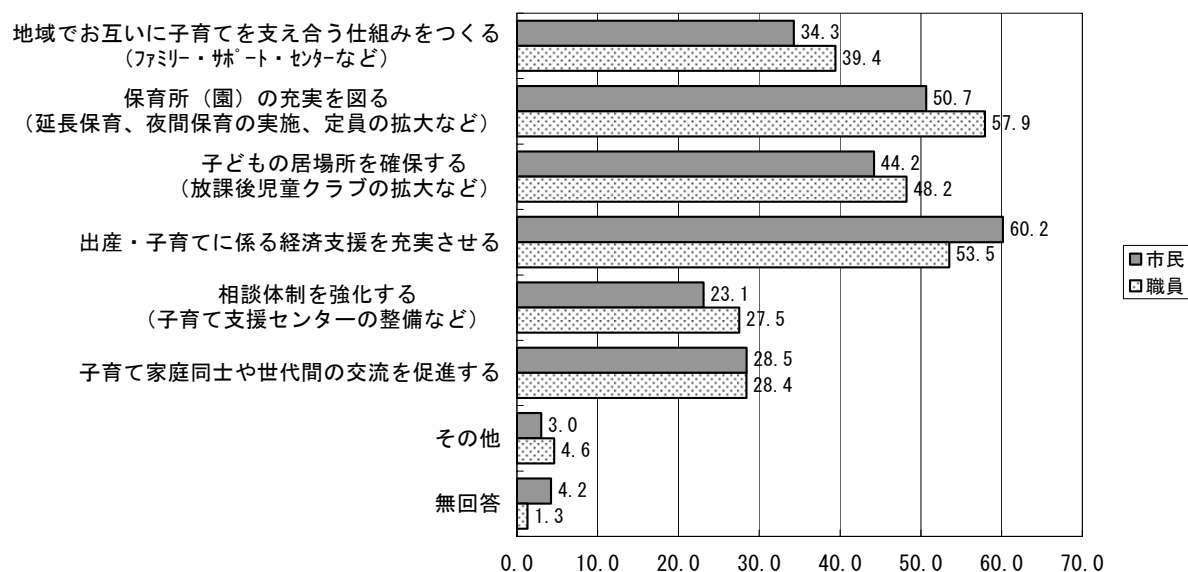


(市民・職員)

問 市の子育て支援への取組みで、何が最も重要と考えますか。(3つまで○)

市民の方では、「出産・子育てにかかる経済支援を充実させる」と回答した方の割合が**60.2%**と最も高く、次いで「保育所(園)の充実を図る」(**50.7%**)、「子どもの居場所を確保する」(**44.2%**)となっています。

一方、職員では、「出産・子育てにかかる経済支援を充実させる」は**53.5%**と、市民の方の回答割合にくらべて低く、他の施策のほとんどでは、市民の方の回答割合を上回っています。

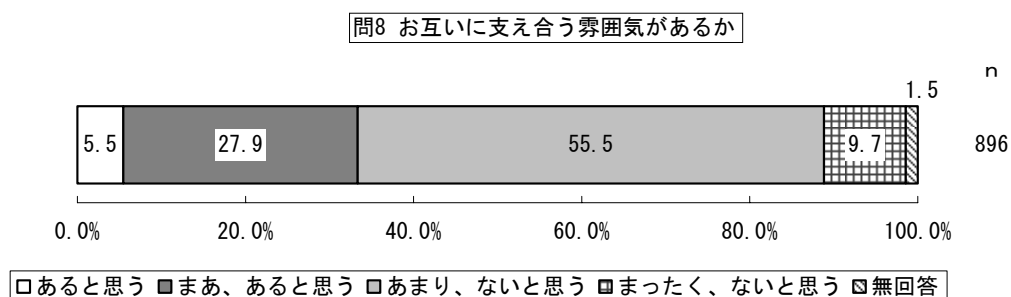


4. 地域の支え合い

(市民)

問 あなたの暮らす地区は、高齢者や障害者、子育て家庭などを、お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。(1つに○)

「そう思う」(とても+まあ)と回答した方が**33.4%**、「そう思わない」(まったく+あまり)と回答した方が**65.2%**と、お互いに支え合う雰囲気がないと思う方のほうが、あると思う方を大きく上回っています。

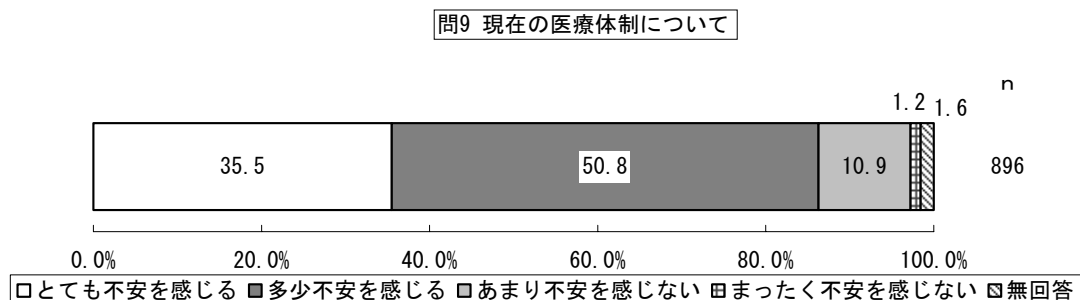


5. 医療体制

(市民)

問 あなたは、現在の医療体制をどう感じていますか。(1つに○)

「不安を感じる」(とても+多少)と回答した方が86.3%と、9割近くの方が現在の医療体制に不安を感じています。

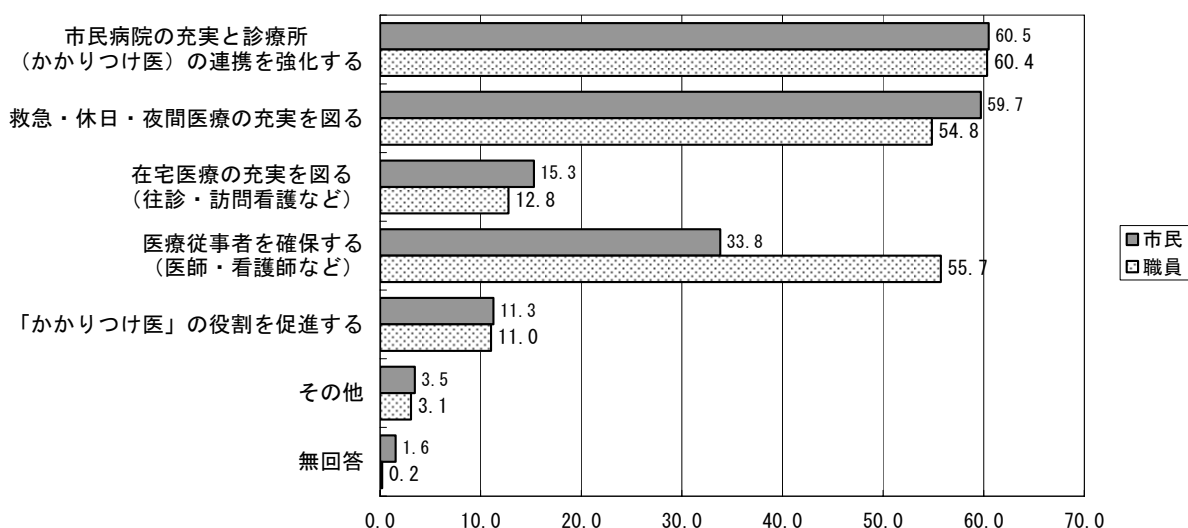


(市民・職員)

問 地域の医療環境への取組みで、何が最も重要と考えますか。(2つまで○)

市民の方では、「市民病院の充実と診療所の連携を強化する」と回答した方の割合が60.5%、「救急・休日・夜間医療の充実を図る」と回答した方の割合が59.7%と高くなっています。

一方、職員では、「医療従事者を確保する」が55.7%と、市民の方の回答割合(33.8%)にくらべて大幅に高くなっています。



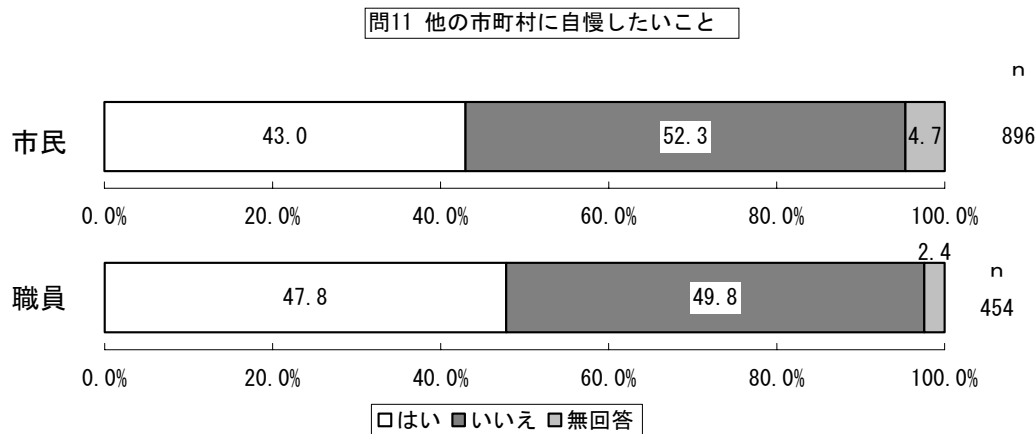
3. 産業・経済について

1. 自慢したいこと

(市民・職員)

問 あなたは、匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。(1つに○)

市民の方、職員とも、ほぼ半数ずつの回答ですが、いずれも「いいえ」が「はい」をやや上回っています。職員のほうが、市民の方より、自慢したいことがあると回答している割合がやや高くなっています。

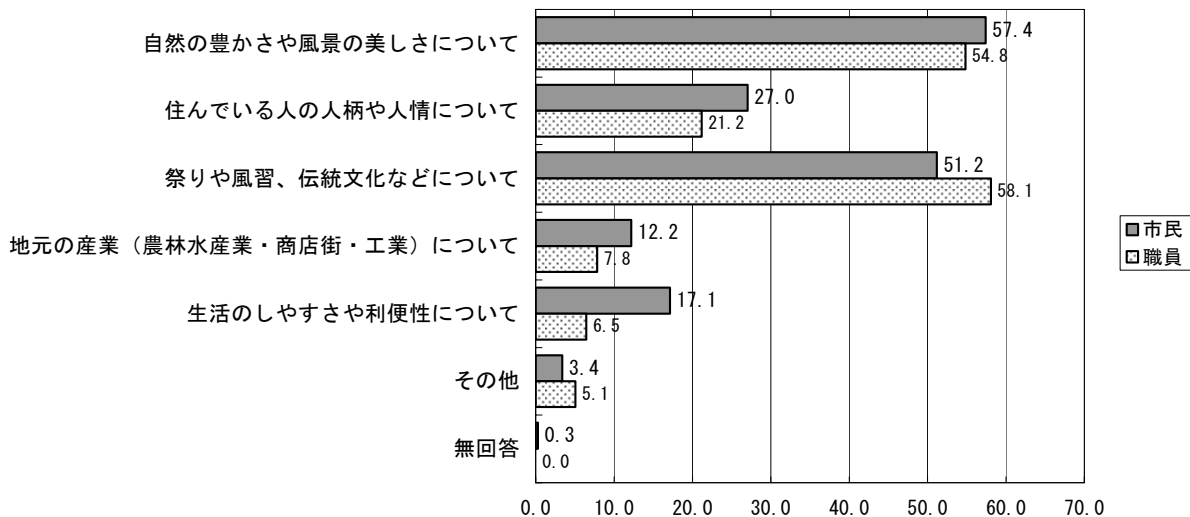


(市民・職員)

付問 それほどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

市民の方では、「自然の豊かさや風景の美しさについて」と回答した方の割合が57.4%と最も高く、「祭りや風習、伝統文化などについて」と回答した方も5割を超えています。

職員でも概ね市民の方と同様の割合ですが、「生活のしやすさや利便性について」の割合が大きく下回っています。

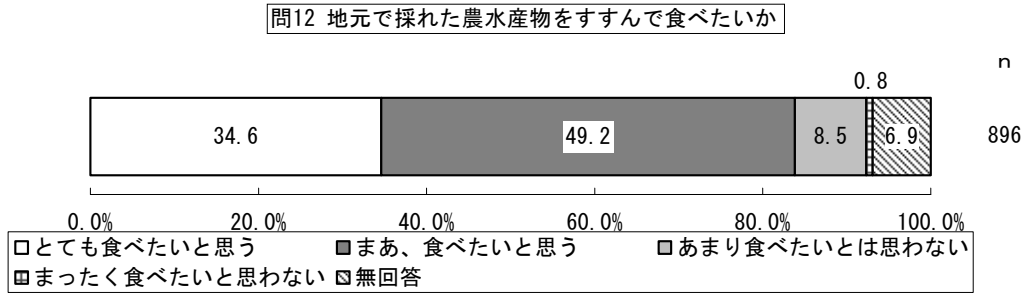


2. 農林水産業振興

(市民)

問 あなたは、地元で採れた農水産物をすすんで食べたいと思いますか。(1つに○)

「食べたいと思う」(とても+まあ)と回答した方が83.8%と、8割以上の方が地元で採れた農水産物をすすんで食べたいと思っています。

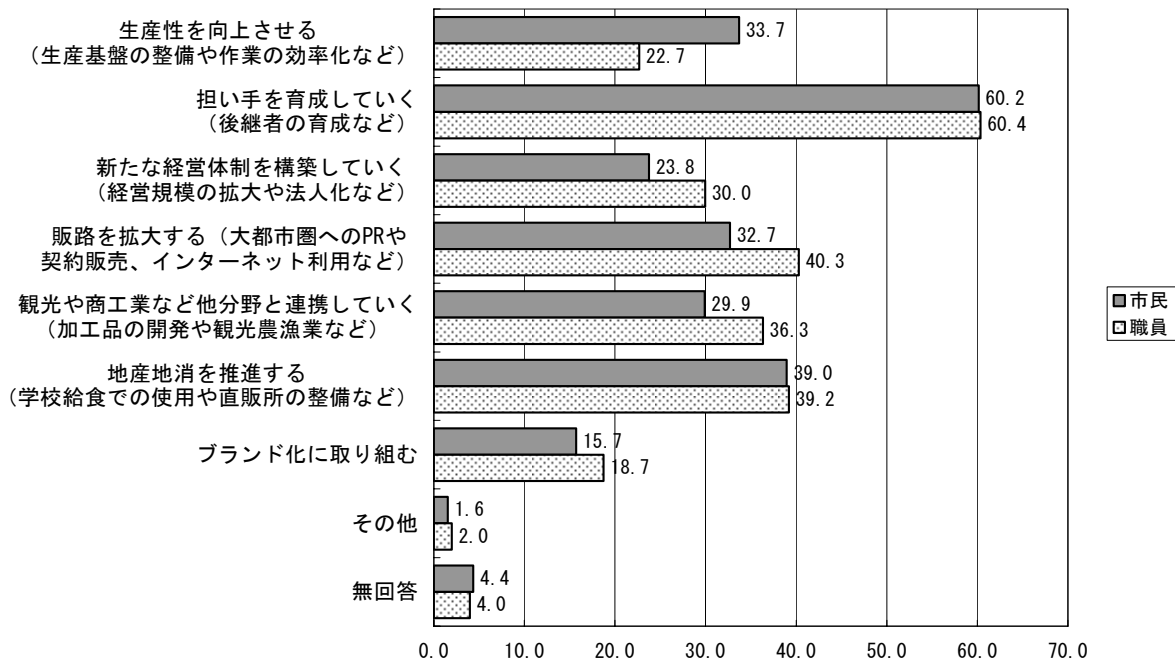


(市民・職員)

問 市の農林水産業振興への取組みで、何が最も重要と考えますか。(1つに○)

市民の方では、「担い手を育成していく」と回答した方の割合が60.2%と最も高く、次いで「地産地消を推進する」(39.0%)、「生産性を向上させる」(33.7%)となっています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべ、同様に「担い手を育成していく」が60.4%と最も高くなっていますが、「生産性を向上させる」の割合が低く、「販路を拡大する」の割合が高くなっています。

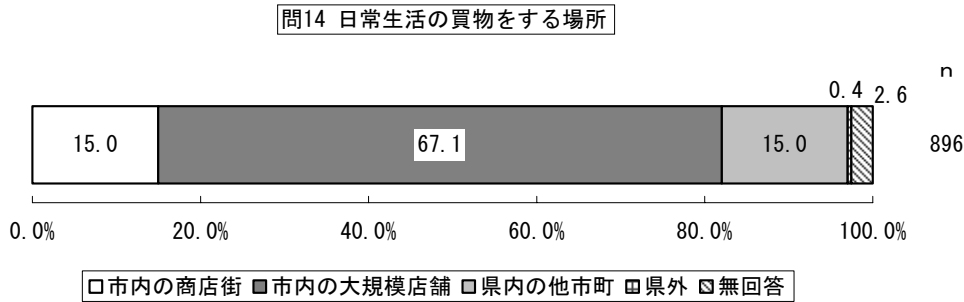


3. 商工業振興

(市民)

問 あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか。(1つに○)

「市内の大規模店舗」と回答した方が **67.1%**と最も高く、「市内の商店街」および「県内の他市町」と回答した方がそれぞれ **15.0%**となっています。

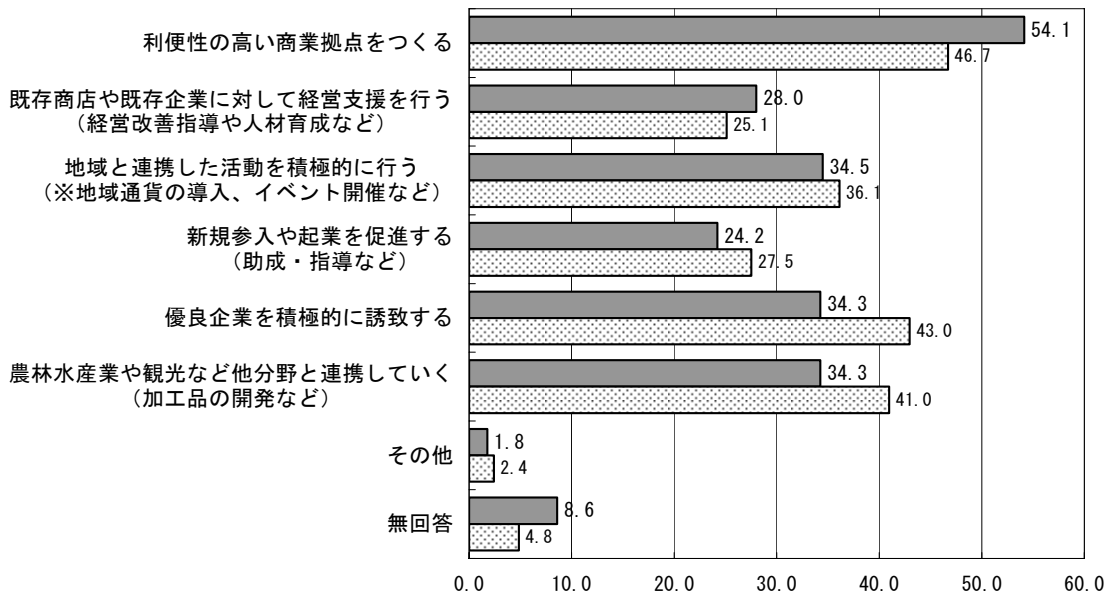


(市民・職員)

問 市の商工業振興への取組みで、何が最も重要と考えますか。(1つに○)

市民の方では、「利便性の高い商業拠点をつくる」と回答した方の割合が **54.1%**と最も高く、その他の施策と回答した方は **3割**前後となっています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべ、同様に「利便性の高い商業拠点をつくる」が最も高くなっていますが、「優良企業を積極的に誘致する」、「農林水産業や観光など他分野と連携していく」の回答も **4割**を超えています。



4. 観光振興

(市民)

問 あなたは、市の観光資源となりうるものは何だと思えますか。(1つに○)

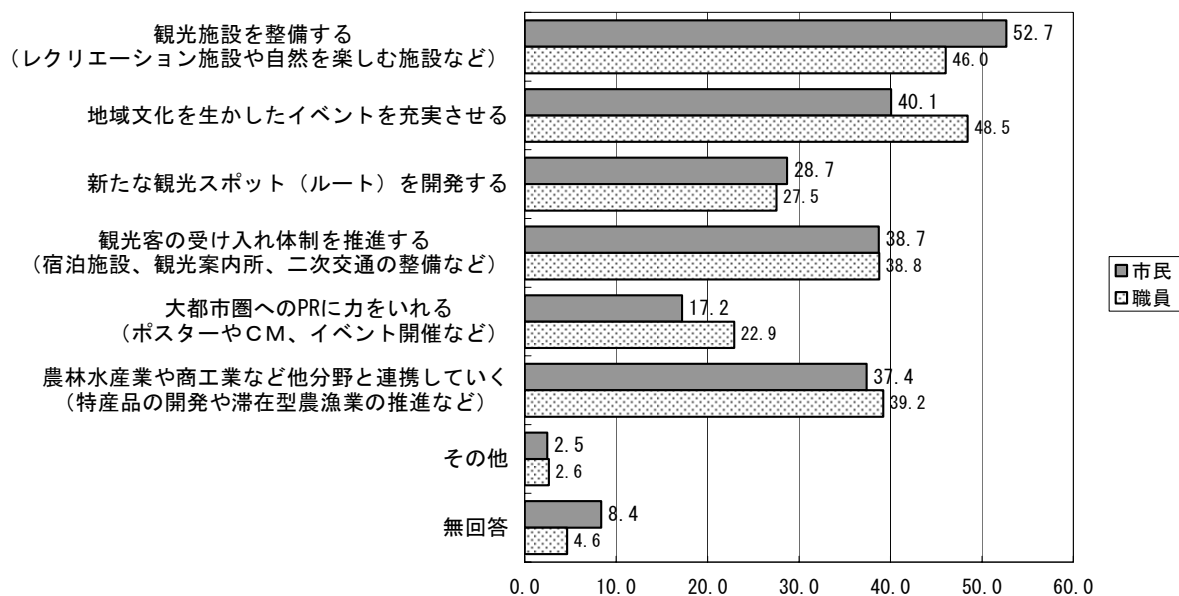
自由回答のため、後日とりまとめのうえご報告いたします。

(市民・職員)

問 市の観光振興への取組みで、何が最も重要と考えますか。(1つに○)

市民の方では、「観光施設を整備する」と回答した方の割合が**52.7%**と最も高く、次いで「地域文化を生かしたイベントを充実させる」(**40.1%**)、「観光客の受け入れ体制を推進する」(**38.7%**)となっています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべ、「地域文化を生かしたイベントを充実させる」、「大都市圏へのPRに力を入れる」の割合が高くなっています。



4. 生活環境について

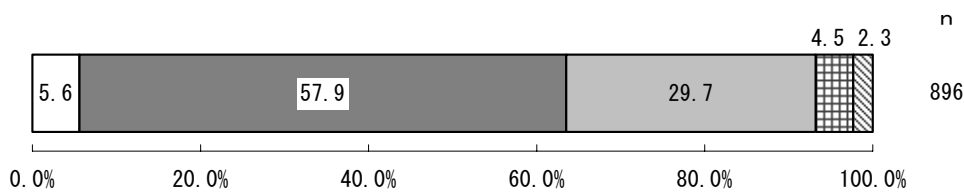
1. 住環境

(市民)

問 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。(1つに○)

「そう思う」(とても+まあ)と回答した方が**63.5%**、「そう思わない」(まったく+あまり)と回答した方が**34.2%**と、快適に生活できる住環境であると思う方のほうが、思わない方を大きく上回っています。

問18 匝瑳市は、快適に生活できる住環境か



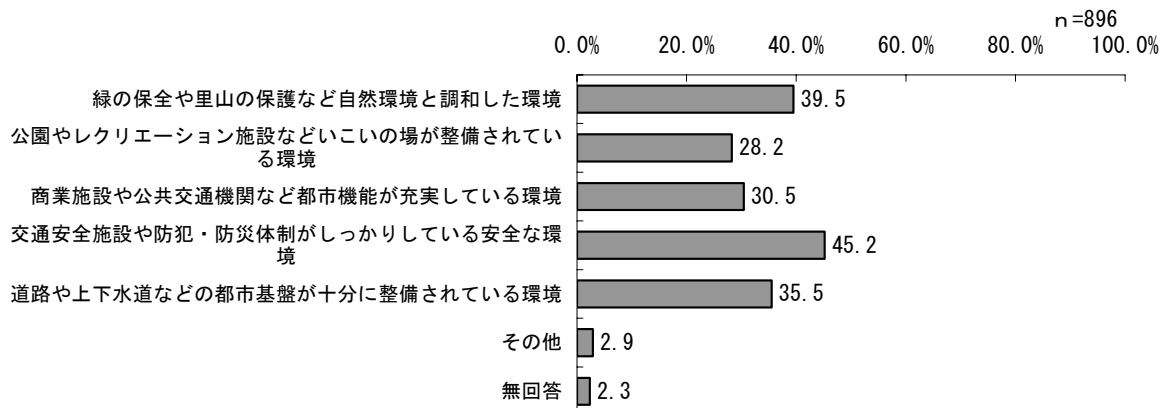
□とてもそう思う ■まあ、そう思う □あまりそう思わない 田まったくそう思わない ▨無回答

(市民)

問 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。(2つまで○)

「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」と回答した方が**45.2%**と最も高く、次いで「緑の保全や里山の保護など自然環境と調和した環境」(**39.5%**)、「道路や上下水道など都市基盤が十分に整備されている環境」(**35.5%**)となっています。

問19 住みやすい住環境とはどのような環境か



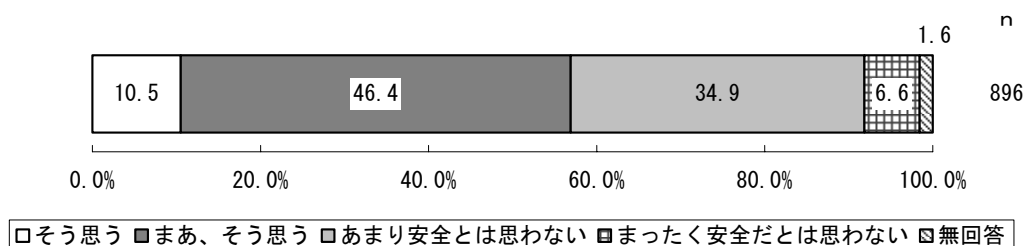
2. 安全なまちづくり

(市民)

問 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。(1つに○)

「(まあ) そう思う」と回答した方が **56.9%**、「安全とは思わない」(まったく+あまり) と回答した方が **41.5%**と、住んでいる地区が災害などに対して安全だと思う方の割合のほうが高くなっています。

問20 居住地区は、災害などに対して安全か

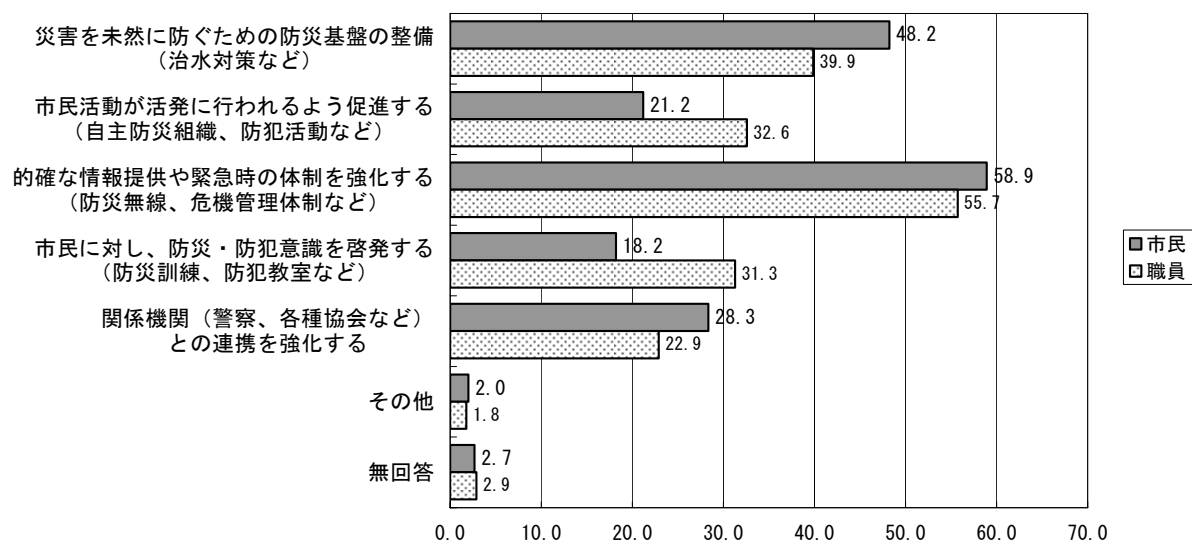


(市民・職員)

問 市の安全なまちづくりへの取組みで、何が最も重要と考えますか。(2つまで○)

市民の方では、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」と回答した方の割合が **58.9%**と最も高く、次いで「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」(**48.2%**)、「関係機関との連携を強化する」(**28.3%**)となっています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべ、「市民活動が活発に行われるよう促進する」、「市民に対し、防災・防犯意識を啓発する」の割合が高くなっています。



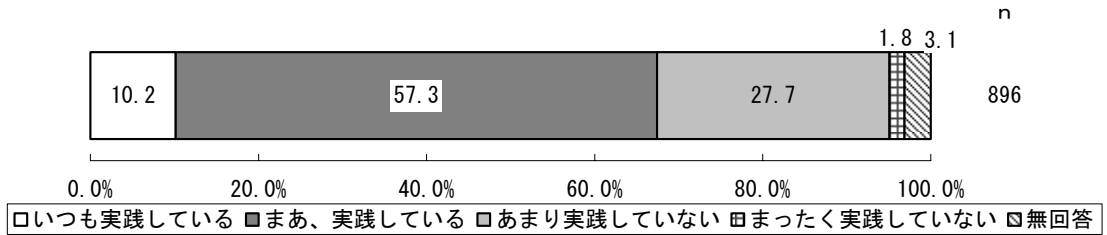
3. 自然環境保全

(市民)

問 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を実践していますか。(1つに○)

「実践している」(いつも+まあ)と回答した方が67.5%と、7割近くの方が、環境に配慮した行動を実践しています。

問22 普段環境に配慮した行動を実践しているか

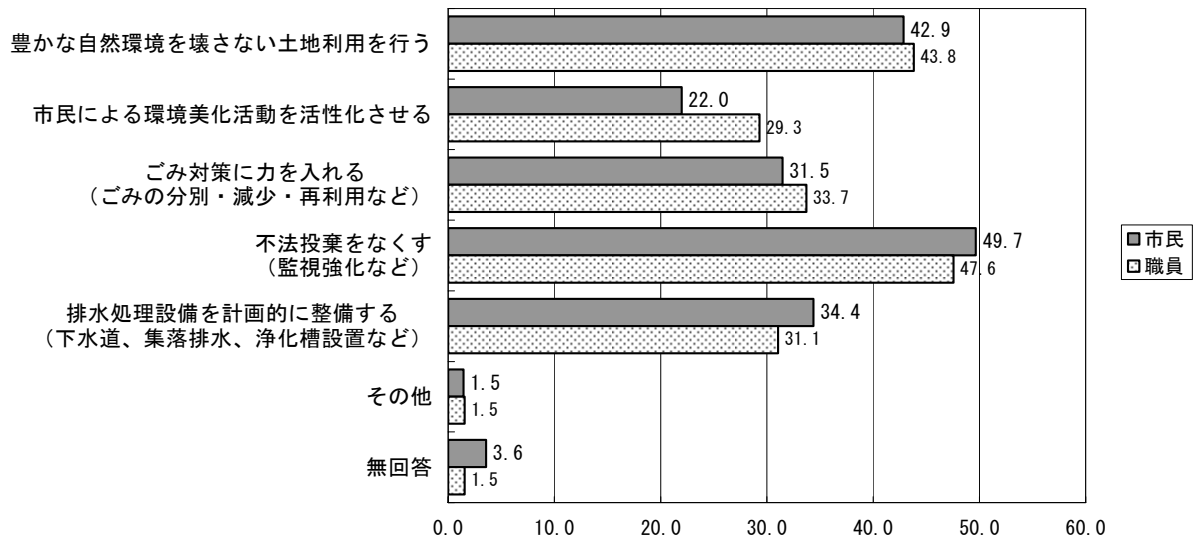


(市民・職員)

問 市の自然環境保全への取組みで、何が最も重要と考えますか。(2つまで○)

市民の方では、「不法投棄をなくす」と回答した方の割合が49.7%、「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」と回答した方の割合が48.2%と高く、ともに4割を超えています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべてほぼ同様の回答割合となっていますが、「市民による環境美化活動を活性化させる」の割合が高くなっています。



5. 教育・文化について

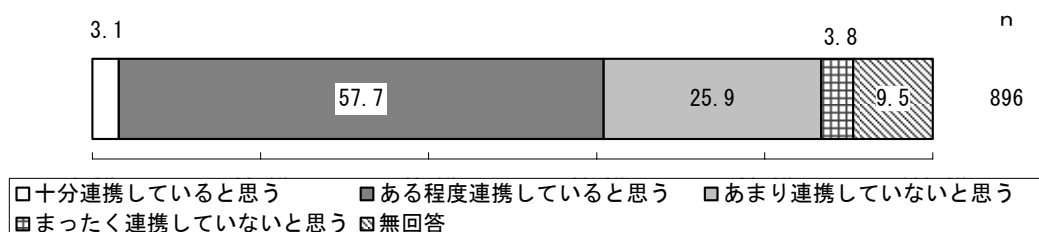
1. 学校教育

(市民)

問 あなたは、子どもの教育について、学校と家庭、地域との連携がなされていると思いますか。(1つに○)

「連携していると思う」(十分+ある程度)と回答した方が60.8%と、「そう思わない」(まったく+あまり)と回答した方(29.7%)を大きく上回っていますが、「十分連携していると思う」と回答した方の割合が3.1%にとどまっています。

問24 子どもの教育について連携がなされているか

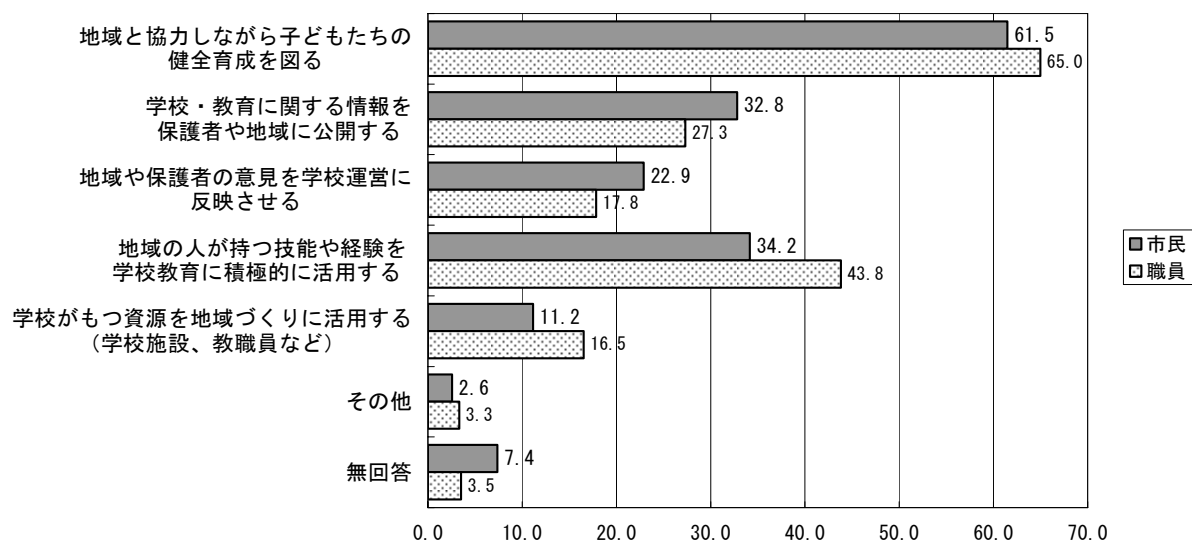


(市民・職員)

問 小・中学校運営において、今後、何が最も重要な取組みと考えますか。(2つまで○)

市民の方では、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」と回答した方の割合が61.5%と最も高く、次いで「地域の人々が持つ技能や経験を学校教育に積極的に活用する」(34.2%)、「学校や教育に関する情報を保護者や地域に公開する」(32.8%)となっています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべて同様の回答順位となっていますが、「地域の人々が持つ技能や経験を学校教育に積極的に活用する」の割合が高くなっています。



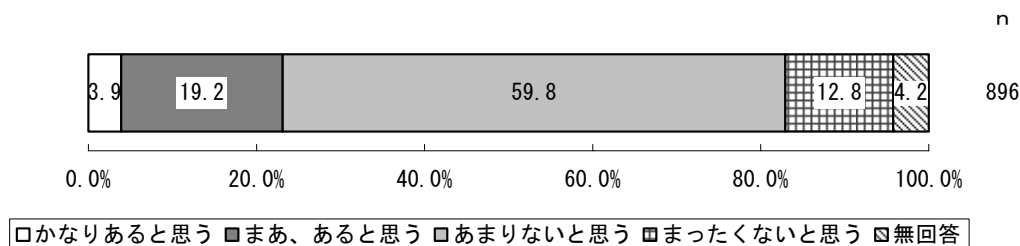
2. 人権問題

(市民)

問 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか。(1つに○)

「あると思う」(かなり+まあ)と回答した方が23.1%、「ないと思う」(まったく+あまり)と回答した方が72.6%となっています。

問26 身近なところで、人権を侵害する行為があるか

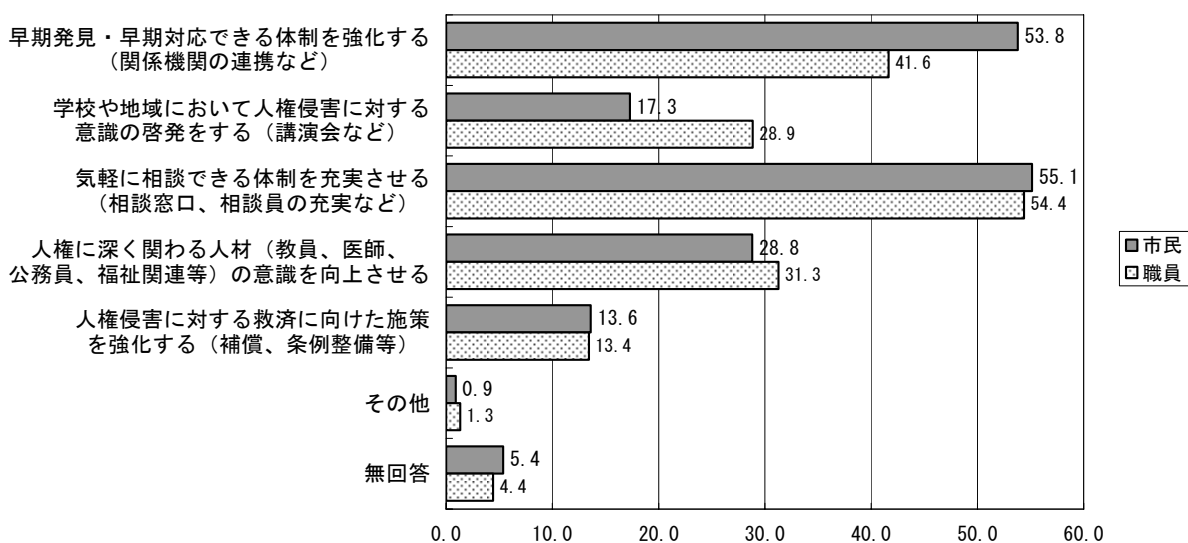


(市民・職員)

問 市の人権問題への取組みで、今後、何が最も重要な取組みと考えますか。(2つまで○)

市民の方では、「気軽に相談できる体制を充実させる」と回答した方の割合が55.1%、「早期発見・早期対応できる体制を強化する」と回答した方の割合が53.8%と、ともに5割を超えています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべて同様の回答順位となっていますが、「学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする」の割合が高く、「早期発見・早期対応できる体制を強化する」の割合が低くなっています。



3. 生涯学習・スポーツ文化活動

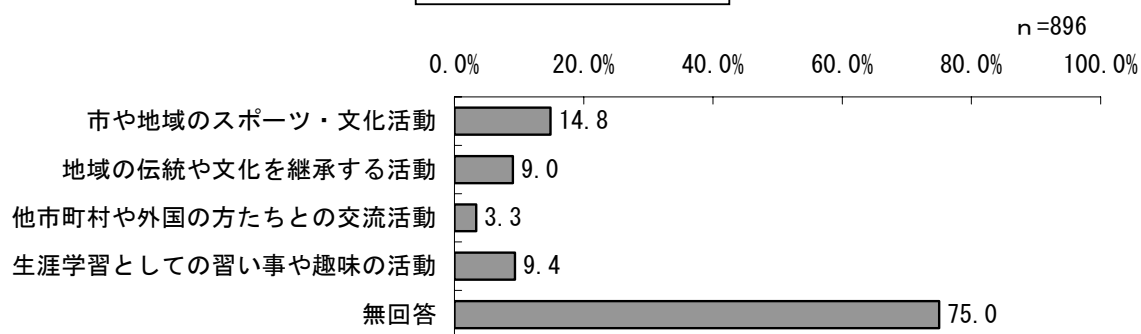
(市民)

問 あなたは、下記の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか。(あてはまるものに○)

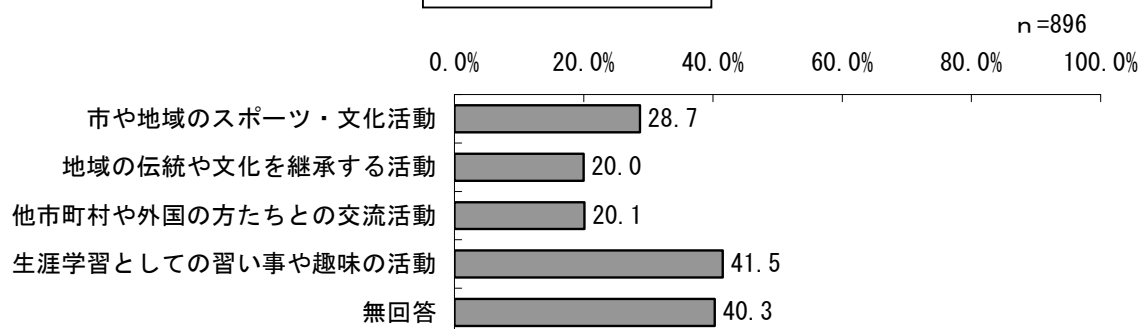
現在参加している活動では、「市や地域のスポーツ・文化活動」と回答した方が14.8%と最も高く、次いで「生涯学習としての習い事や趣味の活動」(9.4%)、「地域の伝統や文化を継承する活動」(9.0%)となっていますが、全体として回答数が少なくなっています。

また、今後参加したい活動では、「生涯学習としての習い事や趣味の活動」と回答した方の割合が41.5%と大幅に増加しているほか、すべての活動で「今後、参加したい」と回答した方の割合が増えています。

問28 (1) 現在参加している



問28 (2) 今後参加したい

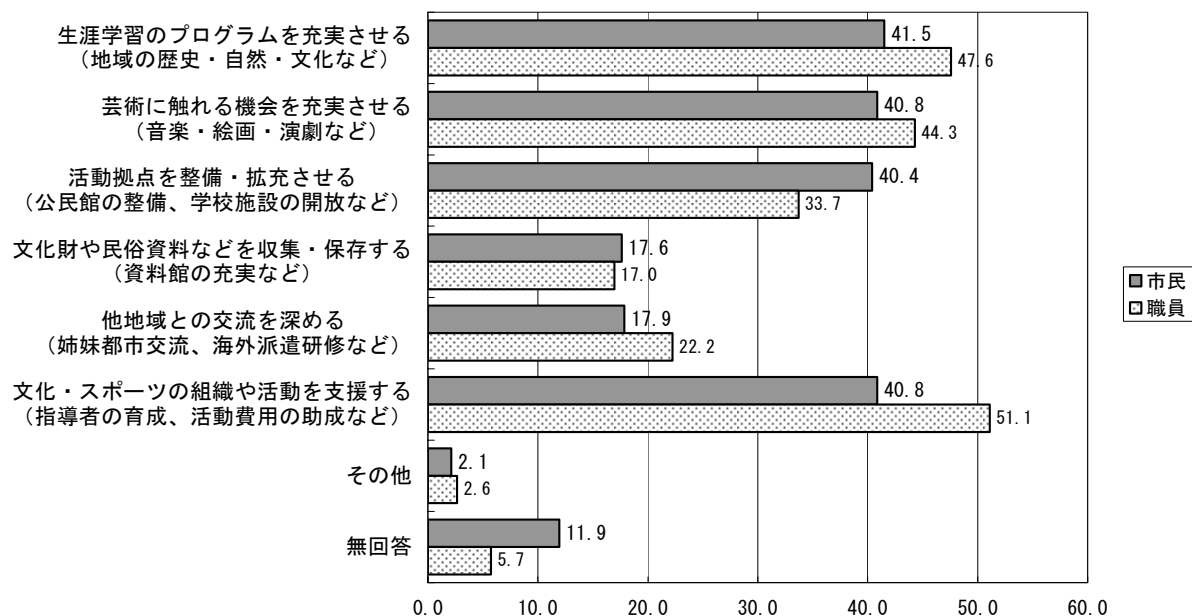


(市民・職員)

問 市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組みで、今後、何が最も重要な取組みと
考えますか。(3つまで○)

市民の方では、「生涯学習のプログラムを充実させる」、「芸術に触れる機会を充実させる」、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」、「活動拠点を整備・拡充させる」と回答した方の割合がそれぞれ4割を超えています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべて、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」の割合が高く、「活動拠点を整備・拡充させる」の割合が低くなっています。

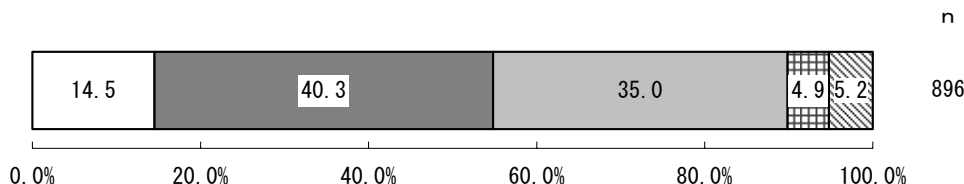


(市民)

問 あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。(1つに○)

「感じている」(とても+まあ)と回答した方が54.8%、「感じていない」(まったく+あまり)と回答した方が39.9%と、地域の伝統や文化に愛着を感じているの方が、感じていない方を上回っています。

問30 地域の伝統や文化に対する愛着



□とても感じている ■まあ、感じている □あまり感じていない ■まったく感じていない □無回答

6. 行財政運営について

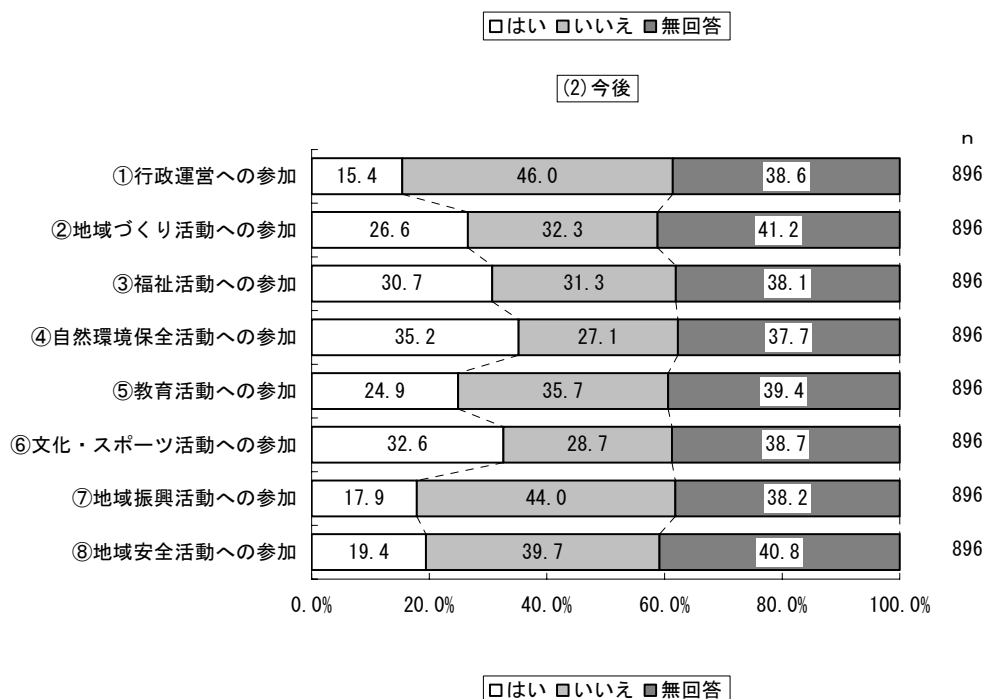
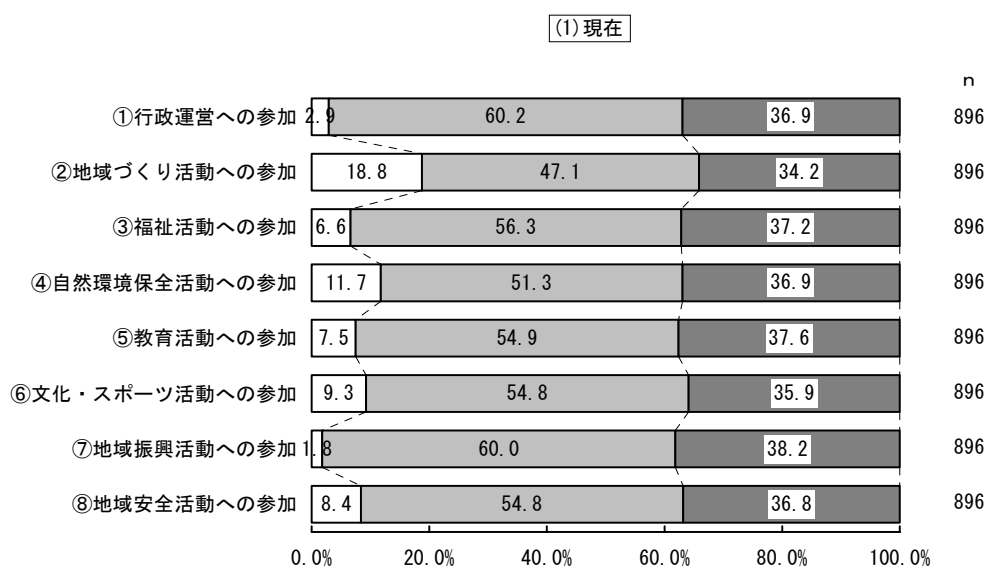
1. 市民との協働

(市民)

問 あなたは、まちづくりや地域づくりに参加したいと思いますか。(あてはまるものに○)

現在参加している活動では、「地域づくり活動」に参加している方の割合が最も高く、約2割の方が参加していますが、全体的にまちづくりや地域づくりに参加している方の割合は低くなっています。

一方、今後参加したい活動では、「自然環境保全活動」に参加したいと回答した方の割合が35.2%と最も高くなっているほか、「福祉活動」、「文化・スポーツ活動」への参加意向も3割を超えています。

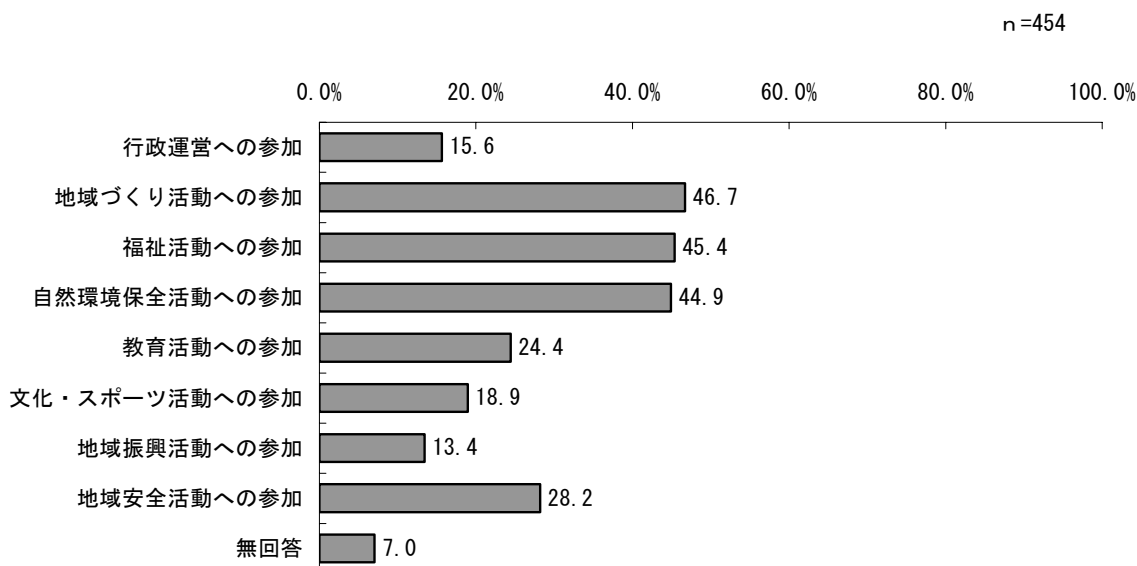


(職員)

問 あなたは、まちづくりにおいて、市民がどのような地域活動に参加することを期待しますか。(3つまで○)

「地域づくり活動」、「福祉活動」、「自然環境保全活動」と回答した方がそれぞれ4割を超えているほか、「地域安全活動」も約3割と高くなっており、市民の方の参加意向と差が見られます。

問17 まちづくりにおける市民の地域活動参加

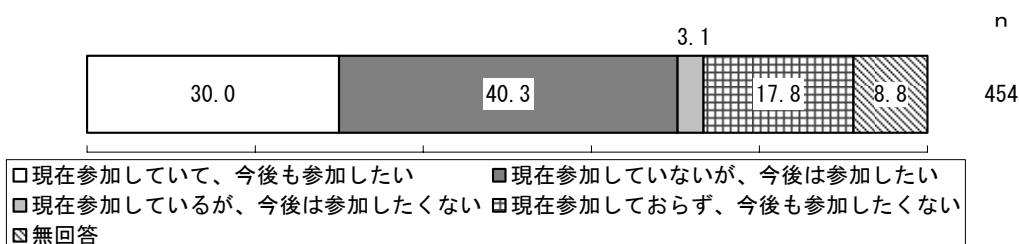


(職員)

問 あなたは、市民として地域活動に参加していますか(したいと思いますか)。(1つに○)

「現在参加している」が33.1%、「現在参加していない」が58.1%となっており、市民として地域活動に参加していない職員の割合のほうが大幅に高くなっています。また、「今後は(も)参加したい」が70.3%、「今後は(も)参加したくない」が20.9%となっています。

問16 市民としての地域活動参加

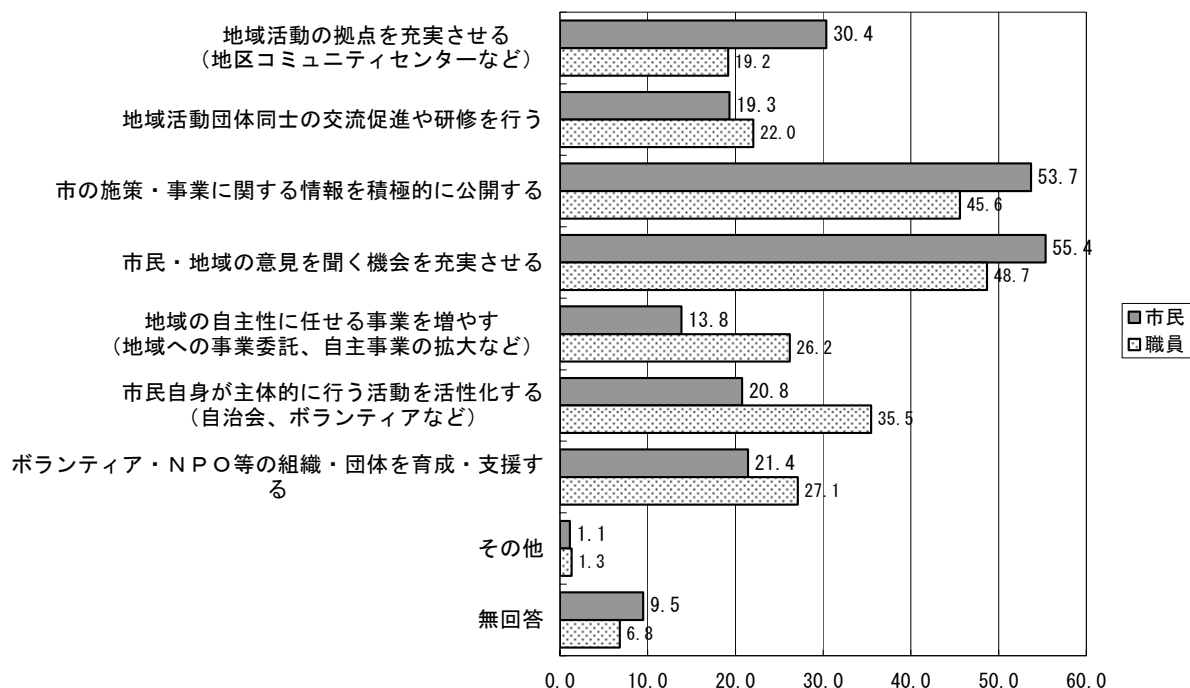


(市民・職員)

問 市民と行政が協働して新しいまちづくりを進める取組みで、何が最も重要と考えますか。(3つまで○)

市民の方では、「市民・地域の意見を聞く機会を充実させる」と回答した方の割合が55.4%、「市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」と回答した方の割合が53.7%と、ともに5割を超えた回答となっています。

一方、職員では、市民の方の回答とくらべて、「地域の自主性に任せる事業を増やす」、「市民自身が主体的に行う活動を活性化する」の割合が高く、「地域活動の拠点を充実させる」の割合が低くなっています。

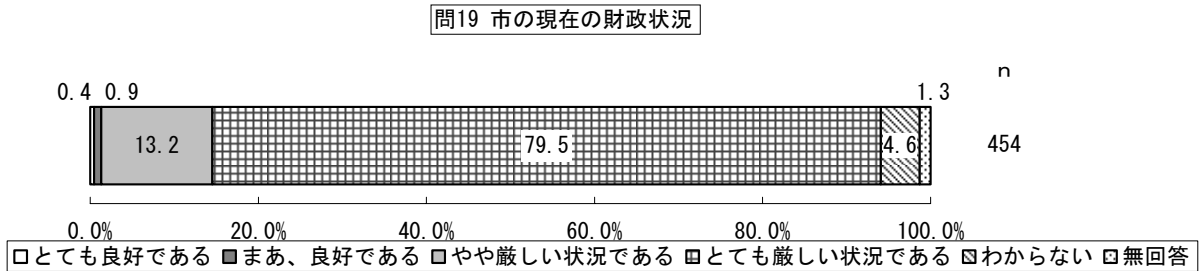


2. 行財政改革

(職員)

問 市の現在の財政状況について、どのように認識していますか。(1つに○)

「とても厳しい状況である」と回答した方が 79.5%で、「やや厳しい状況である」(13.2%)と合わせると、大部分の職員が市の財政状況について、「厳しい状況」と認識しています。

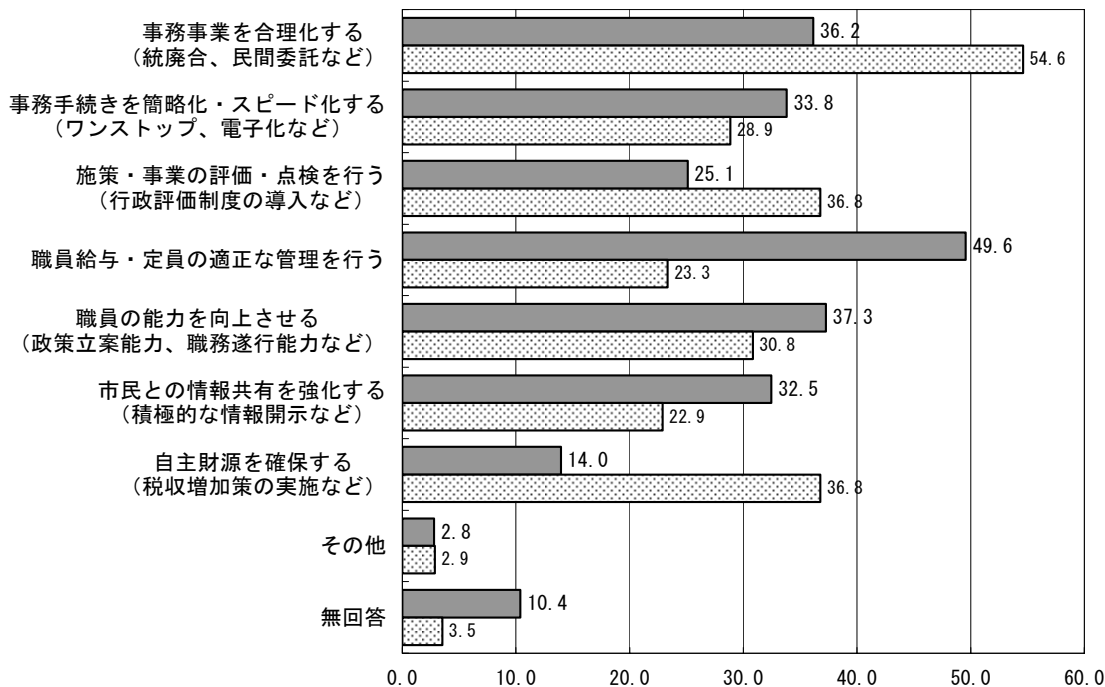


(市民・職員)

問 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組みで、何が最も重要と考えますか。(3つまで○)

市民の方では、「職員給与・定員の適正な管理を行う」と回答した方の割合が 49.6%と最も高く、次いで「職員の能力を向上させる」(37.3%)、「事務事業を合理化する」(36.2%)となっています。

一方、職員では、「事務事業を合理化する」が 54.6%と最も高く、市民の方の回答で最も高かった「職員給与・定員の適正な管理を行う」の割合は 23.3%にとどまっています。

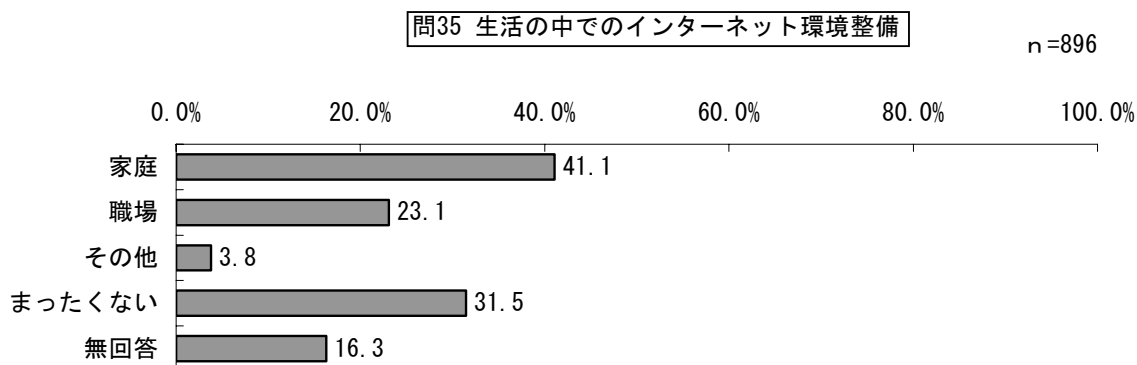


3. 情報通信

(市民)

問 あなたは、生活の中でどこにインターネット環境が整備されていますか。(あてはまるものすべてに○)

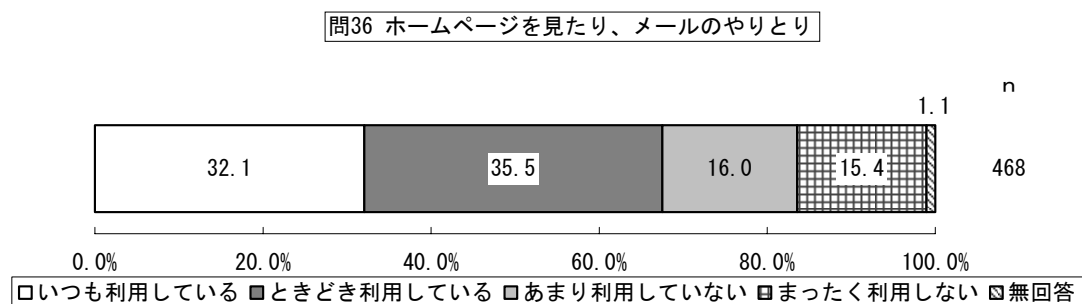
「家庭」と回答した方の割合が41.1%と最も高く、次いで「まったくない」(31.5%)、「職場」(23.1%)となっています。



(市民)

問 あなたは、インターネットを利用してホームページを見たり、メールのやりとりをしていますか。(1つに○)

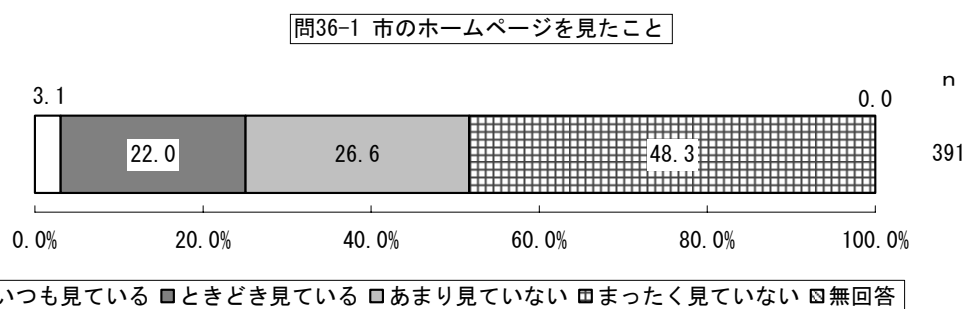
「利用している」(いつも+ときどき)と回答した方の割合が67.6%、「利用していない」(まったく+あまり)と回答した方の割合が31.4%となっており、インターネット環境がある方の約7割の方がホームページを見たり、メールのやりとりをしたりしています。



(市民)

問 市のホームページを見たことがありますか。(1つに○)

「見ている」(いつも+ときどき)と回答した方の割合が25.1%、「見ていない」(まったく+あまり)と回答した方の割合が74.9%となっており、約5割の方が「まったく見ていない」と回答しています。



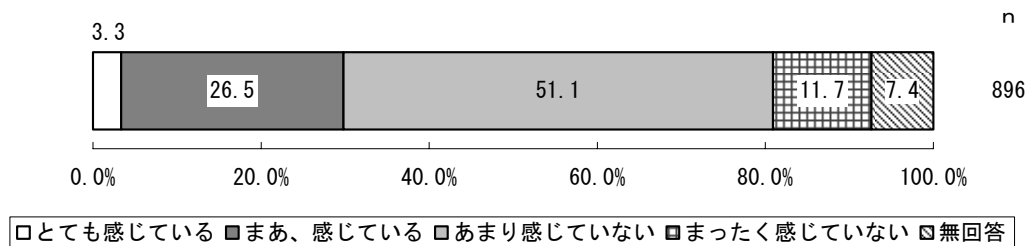
4. 情報提供

(市民)

問 あなたは、市の行財政運営に関して、情報の提供や公開が十分と感じていますか。
(1つに○)

「感じている」(とても+まあ)と回答した方が29.8%、「感じていない」(まったく+あまり)と回答した方が62.8%と、情報提供や公開が十分と感じていない方のほうが、感じている方より大きく上回っています。

問37 市の行財政運営についての情報提供や公開

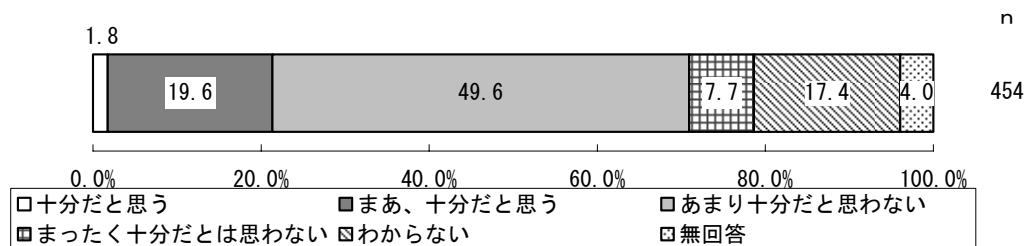


(職員)

問 市の行財政運営に関して、市民に対する情報の提供や公開が十分であると思いますか。(1つに○)

「(まあ) 十分だと思う」が21.4%で、特に「十分だと思う」は1.8%にとどまっている一方、「十分だと思わない」(まったく+あまり)が57.3%となっています。

問22 [市の行財政運営]情報の提供や公開



5. 合併後の状況

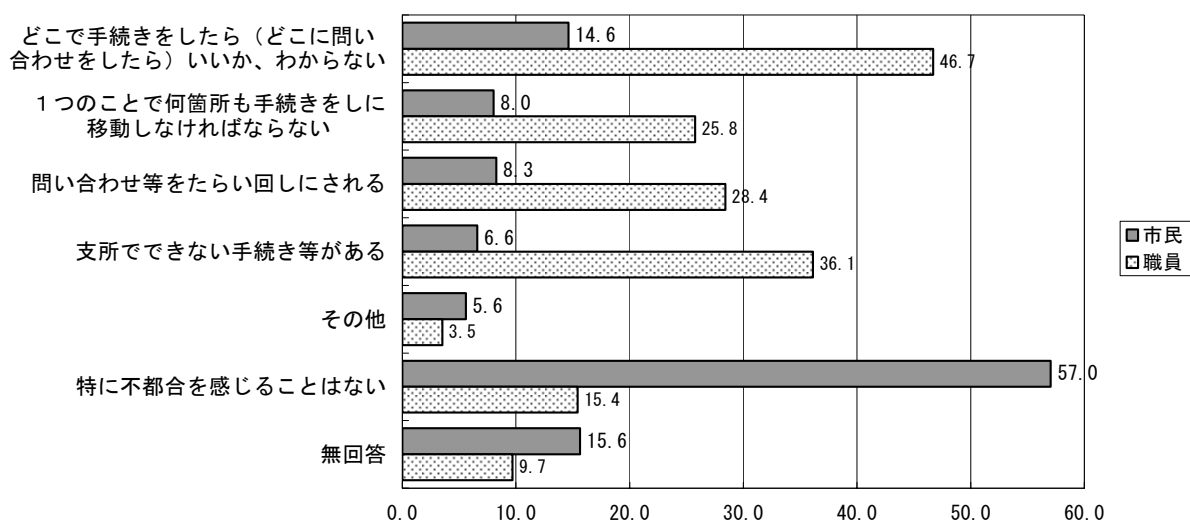
(市民・職員)

問 新市になって、(市民が)手続きや問い合わせ等で不都合を感じたことは何ですか(何だと思いませんか)。(あてはまるものすべてに○)

※ () 内は職員に対する設問

市民の方では、「特に不都合を感じることはない」と回答した方の割合が**57.0%**と最も高く、全体的に不都合に対する回答は少なくなっています。

一方、職員では、「どこで手続きをしたらいいかわからない」の**46.7%**をはじめ、「支所でできない手続き等がある」(**36.1%**)、「問い合わせ等をしたらたらい回しにされる」(**28.4%**)など、市民の方の回答に比べ、不都合を感じていると思う回答が大幅に高くなっています。



(市民・職員)

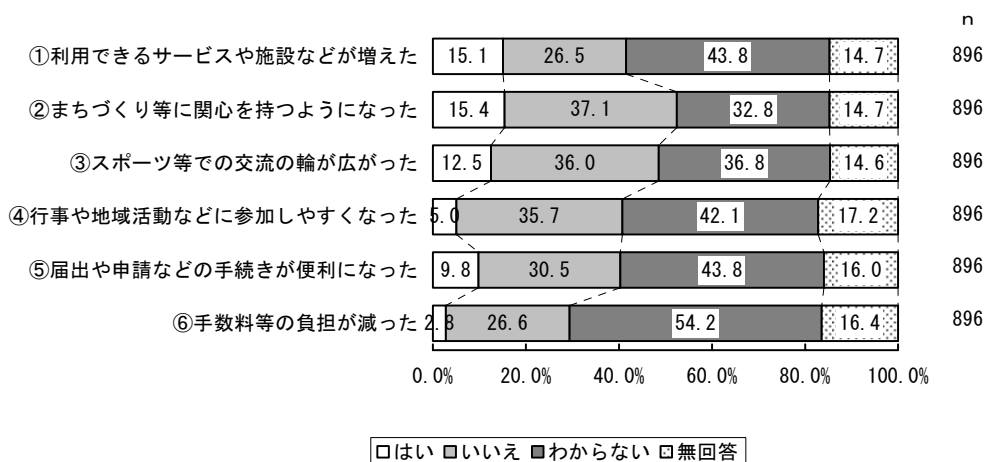
問 合併前と合併後を比べて、あなたの(市民の)日常生活はどのように変わりましたか(変わったと思いますか)。(それぞれ1つに○)

※()内は職員に対する設問

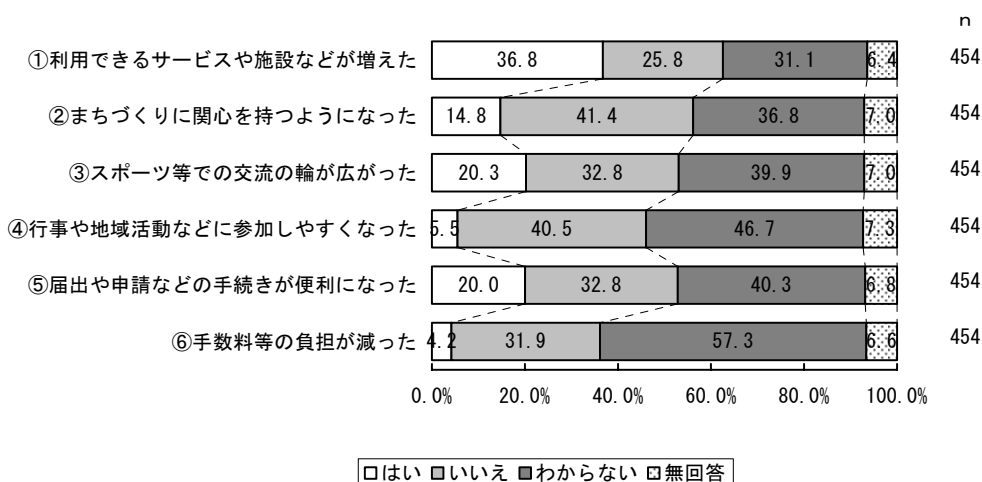
市民の方では、すべての項目で「わからない」と回答した方の割合が最も高くなっており、「はい」と回答した方の割合が最も高い項目は「①利用できるサービスや施設などが増えた」の15.1%となっています。

一方、職員では、「①利用できるサービスや施設などが増えた」や「⑤届出や申請などの手続きが便利になった」の項目に対する「はい」の割合が、市民の方の割合より大きく上回っています。

(市民)



(職員)



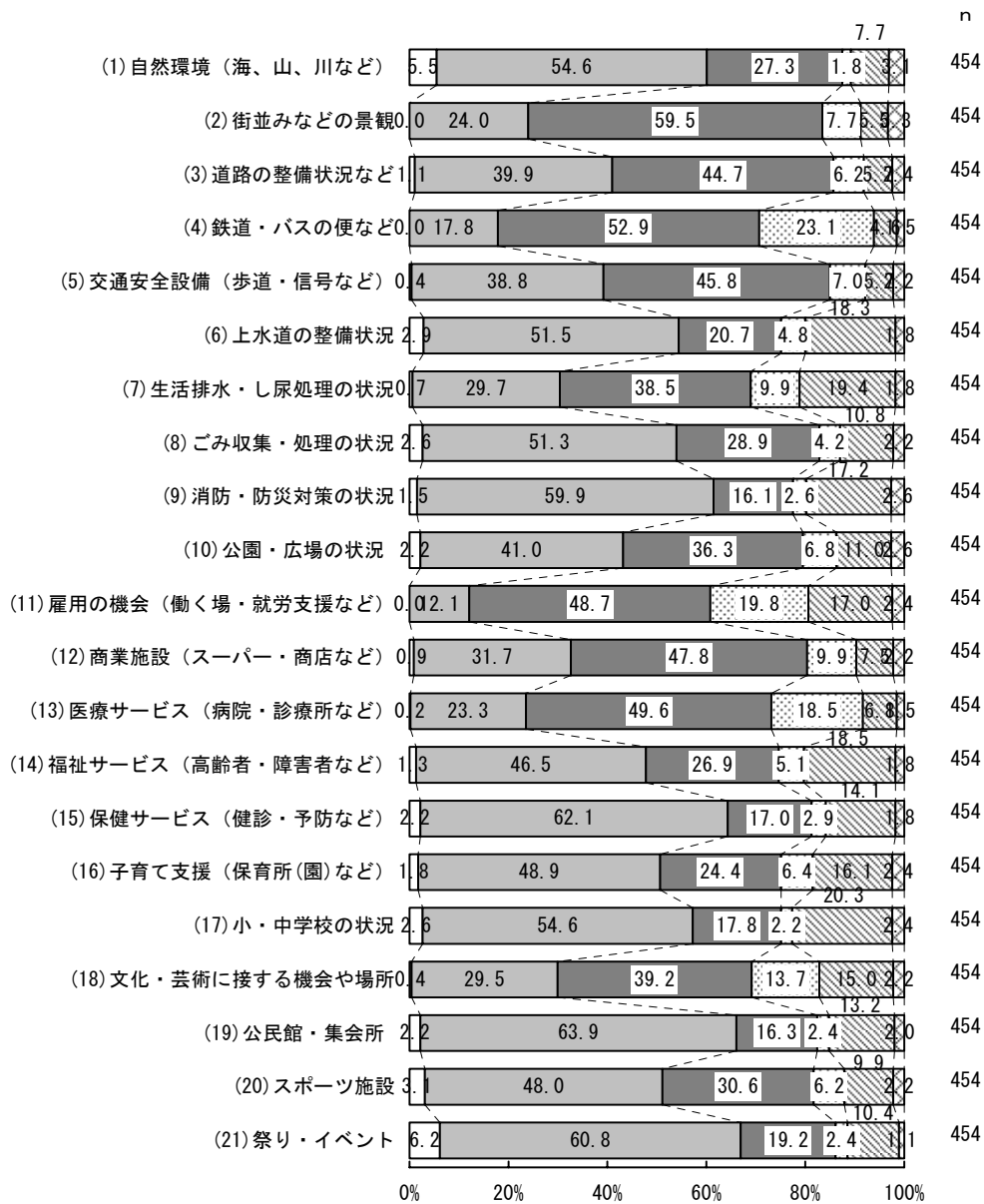
6. 市の現状に対する評価

(職員)

問 あなたは、匝瑳市の現在の下記項目の状況について、職員として、どのように評価しますか。(それぞれ1つに○)

「評価できる」(非常に+まあ)の割合が最も高い項目は、「祭り・イベント」(67.0%)で、「公民館・集会所」、「保健サービス」、「自然環境」、「消防・防災対策」についても6割を超えています。

一方、「評価できない」(全く+あまり)の割合が最も高い項目は「鉄道・バスの便など」(76.0%)で、「医療サービス」、「雇用の機会」、「街並みなどの景観」についても6割を超えています。



□非常に評価できる □まあ、評価できる □あまり評価できない □全く評価できない □わからない □無回答

(職員)

問 市役所は、市民から信頼されていると思いますか。(1つに○)

「信頼されていると思う」(とても+まあ)が**45.8%**と、「信頼されていない」(まったく+あまり)の**39.0%**を上回っていますが、「とても信頼されていると思う」(1.5%)より「まったくそう思わない」(5.1%)のほうが高い割合となっています。

問23 市民からの信頼

